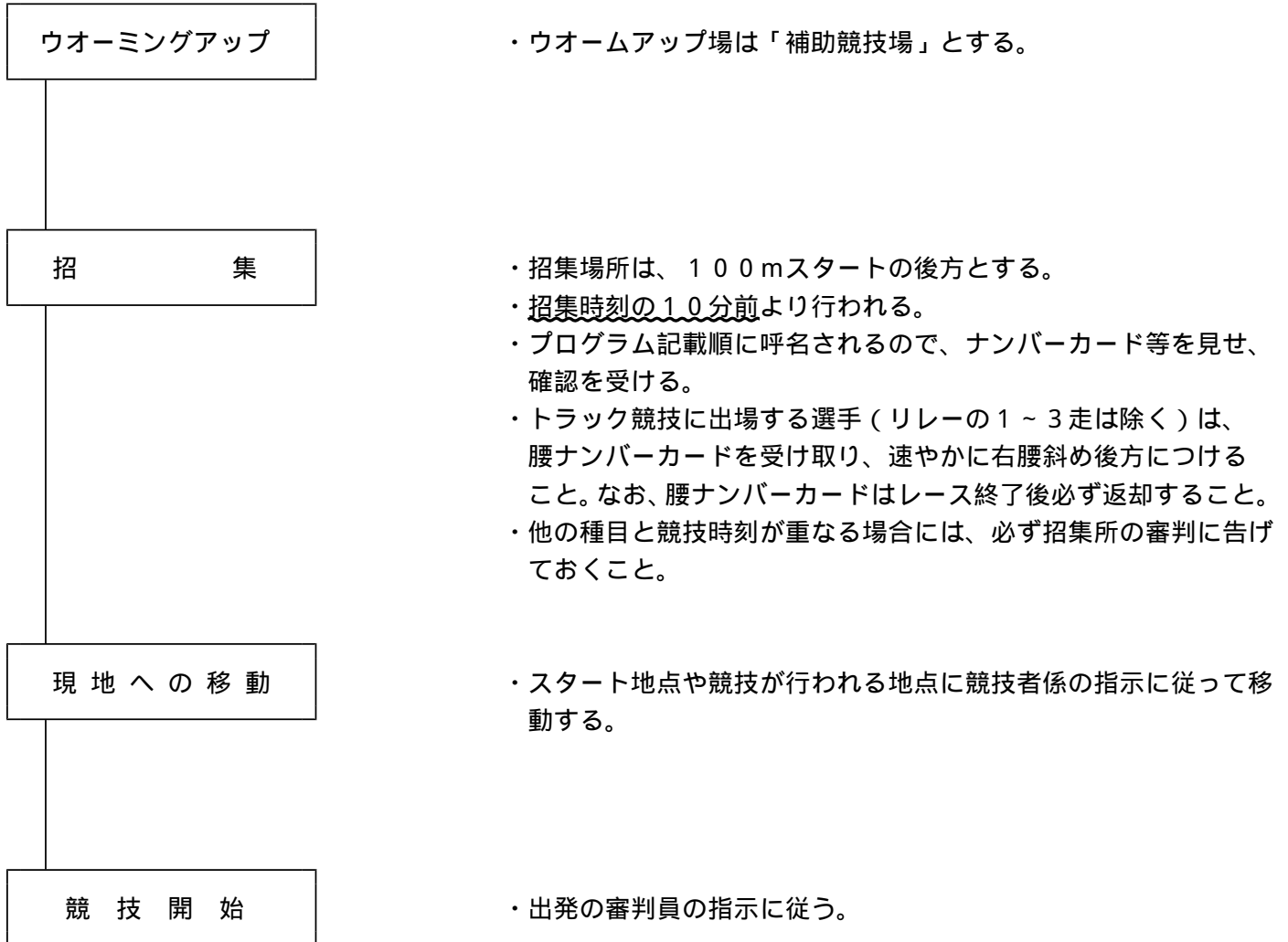


競 技 注 意 事 項

1. 競 技 方 法 2012年(財)日本陸上競技連盟競技規則による。
2. ナンバーカード 個人ナンバーカード(男女赤字)を胸背部につける。ただし、棒高跳、走高跳は胸背い
ずれかでよい。トラック競技に出場する選手(リレーの1~3走者を除く)は全員腰ナ
ンバーカード(大会本部で用意する)を右腰後方に付ける。
3. 招 集 競技者は招集時刻の10分前までに招集所に集合し、点呼を受ける。
トラック競技は競技時刻の20分前、フィールド競技(棒高跳を除く)は40分前、
棒高跳は100分前を招集時刻とする。
代理人は認めない。(複数種目出場者とリレー競技は除く)
招集時刻に遅れた選手は棄権とみなす。
招集場所は、100mスタート地点の後方とする。
4. 練 習 場 ウォームアップ場は「補助競技場」とする。
5. 使 用 器 具 器具は本部で用意したものを使用すること。但し、棒高跳のポールは各自のものを使用
すること。バトンも本部で用意したものを使用し、レース後ただちに係員に返すこと。
6. トラック競技 タイムレースとして決勝は行わない。同組、別組とも同記録は同順位とする。
短距離では、事故防止のためフィニッシュライン到着後、自分に割り当てられたレー
ン(曲走路)を走ること。
7. フィールド競技 走幅跳、砲丸投は3回試技とし、トップ8は行わない。
8. バーの上げ方 男子走高跳 145 150 155 160 165 170 175 180 185 以後3cm
男子棒高跳 240 以後10cm
女子走高跳 125 130 135 140 145 150 以後3cm
女子棒高跳 150 170 190 以後10cm
当日変更することがある
9. ス パ イ ク トラック種目・走幅跳は9mm以下、走高跳12mm以下とする。
10. 表 彰 各種目の1~8位に賞状を授与する。
通告があり次第、すみやかに本部に受け取りに来ること。
11. そ の 他 当日審判員のいない学校は、選手の出場を停止する。
当日の選手の変更は一切認めない。
競技する選手以外はトラック、フィールド内に立ち入ることはできない。
更衣は更衣室で行い、更衣室は常に清潔に努め、ロッカー等には貴重品・衣類等は置
かない。
空き缶・ゴミ等は各校・各自で責任をもって処理する。
応援幕はバックストレート周辺のフェンスに、のぼりはスタンド最上段に、テントは
スタンドの中段より上に設営すること。
スタンドの手すり際に立っての応援や、メインスタンドでの集団応援は禁止する。
また、応援はトラック種目スタート時やフィールド種目競技中には、競技に支障がな
いように十分配慮すること。
中学生は携帯電話を競技技場内では原則として使用しないこと。

選手注意事項

選手は以下の流れに従って動き、失格にならないように気を付けて下さい。なお、リレーに出場する選手は下の注意事項も守って下さい。



注意1 リレーについて

招集は4人そろって他の種目と同様、上記の通り行う。

なお、オーダーは午前中に招集所で走順を記入すること。招集時刻の1時間前までは変更可能とする。